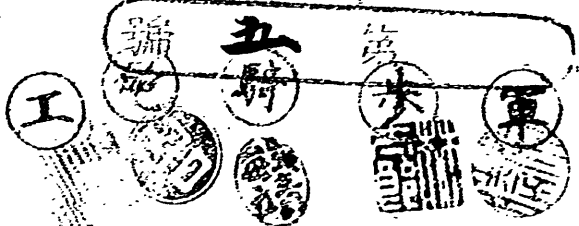


1257



十月十日 結

陸軍大臣寺内正毅殿

軍務

明治三十六年十月七日

陸軍少将  
陸軍歩兵少佐

秋山好古  
大庭二郎

露領「ニコリスク」一被差遣候ニ付テ報告別紙之通及進達候也

陸軍省 密受第一一六號

軍務部 第三〇号 十月十日

軍務部 第一五二號 十月十日

露領「ニコリスタ」へ差遣報告

下官等ハ九月三日露領「ニコリスタ」へ差遣ノ命ヲ受ク  
四日午前東京ヲ發シ五日午後門司ニ於テ伊勢丸ニ搭  
シ十一日午前浦塩斯徳ニ着セリ

黒龍總督府參謀大尉「カミンスキ」及東亞狙撃歩  
兵第一隊隊第一中隊長「ツトチコツ」兩名接伴ノ為メ  
浦塩斯徳ニ來リアリ直ニ其設ケタル宿舎ニ投レ午後軍  
港司令官、要塞司令官、要塞參謀長、沿海州軍務知事  
艦隊司令長官等ヲ訪問セリ

九月十二日浦塩斯徳ヲ發レ夕「ニコリスタ」ニ着シ偕行社ニ投  
宿セリ

九月十三日午前第一軍團長代理（黒龍總督「スオチチ」將軍  
病ト移レ將ニ露都ニ歸ラトス第一軍團長「リネビツ」將軍

總督代理トシテ「ハバロフカ」ニ赴キ不在ナリ故ニ第一軍団砲兵  
 却長「チニコウスキ」將軍々團長ノ代理ヲ為セリ（軍団參謀  
 長、歩兵第一旅團長、同第六旅團長、同第三聯隊長（少將）砲  
 兵第一旅團長ヲ訪向シ午後具來訪ニ接セリ  
 午後五時出發ニ「コリスク」北方約四吉ニアル野營地ニ至ル露  
 國ノ軍隊ハ四月已ニ營舎ヲ出テ屯營ノ傍ニ幕營シ約ニヶ月  
 ヲ此地ニ過コレ六七月ノ交更ニ他ノ野營地ニ赴キ幕營ヲ  
 ナシ秋季演習終リ再ヒ營舎ニ入ル由ナリ  
 「コリスク」ハ歩兵五聯隊（十大隊）砲兵五中隊ノ衛戍地ナルニ  
 「コリスク」北方ノ野營地ニハ「ラストルネ」ヨリ歩兵第一聯隊  
 及龍騎兵聯隊來リアリシニ依リ野營中ノ全兵力歩兵六聯  
 隊（十二大隊）騎兵一聯隊（六中隊）砲兵五中隊ナリシ  
 軍団長代理 下官 等ヲ誘導シ先ツ第六旅團ニ屬スル第二

十三及第二十三聯隊ノ野營地ニ至リ次ニ步兵第一旅團騎兵聯  
 隊、砲兵中隊ノ幕營地ヲ巡視ス幕營ニハ數多ノ國旗ヲ植  
 テ飾リトシ步兵第一聯隊ハ日本ノ國旗ヲモ交ヘ掲ケタリ  
 幕營ハ高約一米ノ土壁ヲ方形ニ築キ方形ノ一辺約四米十  
 リ天幕ヲ土壁ノ上ニ張リ以テ幕營トナス一幕ニハ乃至十  
 二人ヲ容ルルト云フ土壁ニ接シ板床ヲ設ケ兵卒ハ床上ニ藁  
 ヲ布キ之ニ卧ハテ大約吾習志野ノ廠營ト異ルナレ一中隊ハ  
 二十個内外ノ天幕ヲ有シ將校ハ木造ノ小舎ヲ有シ將校  
 集會所、旅團、聯隊、大隊本部、炊事場、厩舎等ハ皆木造  
 廠舎ナリ故ニ遠ク幕營地ヲ望ムトキハ恰モ村落ノ如キ  
 觀アリ

幕營巡視ノトキ兵卒ハ皆幕營ノ一辺ニ數列ニ堵列セリ旅  
 團長、聯隊長、大隊長ハ皆騎馬ニテ軍團長ヲ迎ヘ之ニ隨行セ

兵卒ハ容貞頗ル壯健ナル如ク軀幹長大平均一米七十内外  
ナリト云フ

谷兵種トモ同一ノ長靴ヲ穿キ具良好ニシテ丈夫ナルヲ實ニ  
羨ム一ニ其價亦廉ニシテ三四五十弍内外ト云フ

幕営ノ巡視ヲ終リ馬ヨリ下リ馬車ニ乗り帰途ニ就ク

夜十時ヨリ偕行社ニ踏舞會アリ軍団長代理ノ招ニ應  
レ之ニ臨メリ

「ニコリスタ」ハ近來市ト移スト虽比尚人口多カラス劇場音  
樂會等將校及其家族ノ樂トナル一キモノ更ニアルヲナシ  
是ニ於テ毎日曜偕行社ニ踏舞會ヲ開キ其無聊ヲ慰ムル  
ト云フ

將官ニシテコビリ正在勤已ニ十年以上ニ及フモノ決シテ寡ナ

カラス將校ハ皆其家族ヲ携ヘ來リアリ

九月十四日朝馬車ニテ幕営地ニ至リ更ニ馬ニ跨リ砲兵中隊ノ教練ヲ見ル中隊ハ砲車八輛彈藥車八輛ヨリ成リ其馬匹ハ中々ニ可ナリ砲兵ノ運動ハ無暗ニ運動ノ快速ヲ示シ放列ヲ布クヤ直ニ發射シ人ヲシテ照尺ヲ定メ目標ヲ照準セシヤ否ヲ疑ハシメタリ然レ凡其運動ノ快速ハ大ニ見ル一キモノアリシ砲兵旅団長曰ク予ハ一ヶ月ニ一回砲ト馬足ヲ検査ス其他ハ日々練兵場ニ馳驅シ砲兵ヲ意ノ如ク運動セシムルヲ知ルニト此長時日ノ野営間ニ軍団長以下悉ク幕営ニ住シ軍隊教育ヲ監視シ實施スルハ長官手足ノ如キ軍隊ヲ練成スルニ大ニ與リテ力アリト云フ

砲兵中隊ノ運動終ルテ龍騎兵駁隊ノ運動ヲ見ル駁隊長ウラルノフハ天津民政廳ニアリシ人ナリ其慧眼機敏ニ

事ノ處スルノ能性ニヨリス。第一流ノ軍人ニシテ又最モ騎  
 兵將校タルノ資性ヲ備ヘタリ。騎兵聯隊ハ六中隊ヨリ成リ各中  
 隊兵力約百二十騎ナリ。其馬匹ハ秀絶ト云フニアラスト雖モ強  
 健大ニ用フルニ足ルヘシ。我騎兵ノ馬匹ニ比シ其大ニ優レルヲ認  
 ム中隊ハ無色ニヨリ區別シテアリ。各種ノ運動概シテ賞讃  
 ノ價値アリ。我騎兵ヨリ優ル所アリト認ム。龍騎兵聯隊ハ  
 西伯利各軍団中ニ單ニ一個アルニシテ最良ノモノナリ。  
 騎兵ノ演習終ルヤ該聯隊ノ將校馬、牧事場、厩舎ヲ見次テ其  
 將校集會所ニ午餐餐ス。盛宴蓋シヨリス。滞在中ノ最モ  
 快ナルモノナリシ宴終リ馬車ニテ一旦歸リ午後五時更ニ今日  
 リ開始セラルキ旅団ノ對抗演習ヲ觀察。赴キタリ。  
 演習想定ノ大要ハ次ノ如シ。  
 南軍支隊歩八大隊、騎四中隊、砲三中隊ハ「ハエルスカヤ」ニアル

敵ノ糧食倉庫ヲ占領ス一キ任務ヲ有シ九月十四日午後十時  
 コリスクニ達セリ此時迄ニ敵ノ少枝隊本日コリスクカヤヲ  
 經テ南進セシヲ知ル

北軍枝隊(歩四大隊騎二中隊砲二中隊)ハコリスカヤニアル倉  
 庫ヲ掩護ス一キ任務ヲ受ケ午後五時コリスクノ北方幕営  
 地ノ附近ニ達セリ

敵ノ騎兵ハ今朝コリスクノ南方約六里ノ山ニ達セリ

午後五時北軍枝隊ハ携帶天幕ヲ以テ幕営ヲ布キアリシカ  
 警急集合ヲナシニ聯隊ノ「ジャスール」換拔兵約二百人ヲ以テニ

コリスクノ北方ノ小山ヲ占領セリ

警急集合ノ際天幕ヲ撤スルノ動作迅速ナルハ慥ニ露兵  
 原野ノ生活ニ熟シアルヲ証セリ差次ムヘキハ其外套ナリ其地  
 質良好ニシテ此寒國ノ生活ニ此天幕ナカル可ラス亦此外



套十カレ可ラス

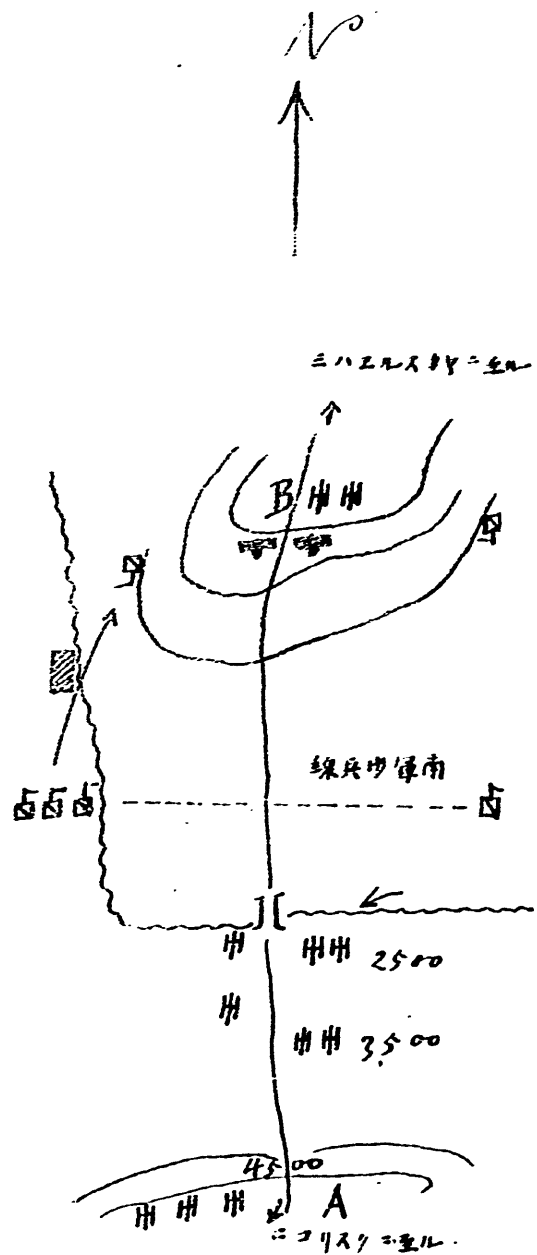
谷中隊ハ一輛ノ給養車ヲ有セリ行軍中炊爨ヲ為スノ仕組ナリ將校ハ皆曰ク東亞ニ於テ欠ク可ラサルノ要品ナリト其他谷中隊ニ一輛ノ將校給養車アリ又谷大隊ニ一輛ノ給水車アリ衛生車其他ノ大小行李車皆我一馬曳ニ輪車ヨリ少シク大形ノ二輪車ナリ行李車ハ善ク其用ニ適セリト稱スルヲ得一シ

上述警急集合ヲ見ルノ後一タシ偕行社ニ歸リ午後十時更ニニコリスクノ北端ニ赴ケリ

此時南軍支隊ハ正ニニコリスクノ市ニ達シ行進中ナリ道路廣キカ故ニ歩兵ハ半小隊級隊砲兵ハ小隊級隊ニテ行進セリ然モ尚下官等ノ馬車ヲ通スルニ十分ナリシ南軍支隊長ハ北軍歩兵ニコリスクノ北方ノ高地ヲ占領セシテ

知リ即チコヤスール四百八十(一)隊ヲ百二十ノ割ニテ出セシ換  
 拔兵ト步兵一大隊ヲ以テ夜襲ヲ行フニ決シ午後十時三十分  
 暗夜ノ突撃ヲ施行シ終ニ「ニコリスク」及其北方ノ山ヲ占領  
 此附近ニ露營セリ  
 九月十五日午前十時運動開始 下官等八十時馬車ニテ  
 南軍ノ集合地ニ達シ此地ニ乗馬シ南軍ノ發進ヲ見タ  
 リ步兵二中隊前兵トナリ別ニ約二百宛ノ「コヤスール」群前兵  
 ノ左右約ニ吉米ニ行進セリ前衛本隊ノ先頭ニ步兵一中  
 隊次ニ砲兵一中隊次ニ步兵五中隊行進セリ  
 步兵六大隊縦隊砲兵ハ小隊縦隊ニテ行進シ騎兵ハ主トシテ中  
 隊縦隊ヲ換用シ騎兵ノ一中隊縦隊ハ恰モ一將校任候ノ如ク  
 行進シ是ヨリ少ク小行候ヲ分遣スル等ノ「ナカリ」ハ蓋  
 シ地形一望千里ノ平野ナレハナリシナラン

北軍ハ三八エルスカヤ南方約六吉ニアルBノ高地ヲ占領セリ此  
 地蓋シ三八エルスカヤヲ南方ニ對シ掩護スル唯一ノ陣地ナリ陣地  
 ノ正面約二千米歩兵四大隊砲兵二中隊ノ枝隊ニ對シテハ真正  
 面過大ナルモ之ヲ舍テ他ニ拠ルキノ地ナシ依テ此陣地ヲ占領  
 セレナリ北軍ハ先ツ歩兵一大隊及砲兵二中隊ヲ陣地ニ就カシ  
 ナタリ



南軍ハA山ノ後ニ用進シ砲兵ハ此處ヨリ約四千五百米ニテ射撃ヲ開始セリ步兵ハ先ツ密集隊形次テ前線ハ散兵後線ハ後隊トナリ前進シ步兵ノ前進ニ伴ヒ砲兵亦梯次躍進シ三千五百米二千五百米ニ逐次前進シ砲火ヲ用ケリ步兵ハ約三大隊ヲ右翼ニ配列シ其主力約五大隊ヲ左翼トナシ之ヲ以テ本攻撃ヲ施サントセリ

南軍ノ右翼先ツ敵ニ近キ殆ニ突撃ニ轉セントスルノ時機ニ於テ南軍ノ左翼ニアリシ騎兵三中隊北軍ノ右翼後ニ向ヒ襲撃セリ北軍ノ騎兵一中隊之ニ向ヒ逆撃ヲ試ミタリ此騎兵戦用ハ戦用全局ノ上ニ於テ善ク好機ニ投セリ步兵ノ右翼先ツ敵ニ接近シ突撃ヲナス爰ニ於テ南軍全線ノ突撃トナリ其攻撃動作ハ善ク連繫シテ協同セリ南軍支隊ノ司令官ハ步兵第一旅団長ゲルニグロイ少将ナリ少将性驍悍善ク其部下ヲ集結シ之ヲ手中ニ掌握シ使用セリ此伎倆大ニ見ル一キアリ龍騎兵隊長クルノ一ト好一對ノ

コリスク名物ナルヘシ

北軍ヲ指揮セシハトルリーフ少将ナリ少将ハ藉ヲ參謀團ニ  
列シ目下第六旅團ヲ指揮セリ其慥慥何ルニグロース少将及  
ハスト虫氏亦是レ好個ノ將軍ナリ

南軍突撃ヲ始ムルヤ北軍ハ全力ヲ拵ケ逆撃ヲナシ爰ニ於テ  
南北兩軍全線互ニ相通過シ敵後ニ出テ是ニ至リ演習ヲ中  
止セリ此戦法ハ實ニドラゴエロフノ流義ナルヘキカト思ハレタリ  
講評ハ大畧我邦ト異ル所ナク講評終リ馬車ニ乘リ偕行  
社ニ歸レリ此夜偕行社ニ晩食ス步兵第一聯隊ノ樂隊來  
リ奏樂セリ

九月十六日午前十時出發馬車ニテ觀兵式場ニ至ル

步兵ハ縱隊横隊ニテ第一線ヲナシ騎兵ハ縱隊横隊砲兵ハ横  
隊ニテ第二線ヲ為セリ  
步兵ハ縱横ノ整頓中々ニ可ナリ騎兵砲兵ノ整頓亦可ナリ

馬ノ姿勢ハ中々ニ好カリシ

觀兵終リ分列式アリ步兵ハ中隊級隊ニテ先ツ分列セリ  
其歩法固大ニシテ然モ甚ク勇壯吾步兵ノ矚ヲ高ク擧ケ  
為ニ甚ハタニク不活潑ニ見ユル歩法ニ比シ非常ノ差異アルヲ  
認ノタリ

次テ砲兵分列セリ一中隊ハ並歩二中隊ハ早歩二中隊ハ駟歩  
ナリ此日砲兵ハ砲車八輛彈藥車十二輛ヲ駟車駕セリ其動  
作快活其整頓亦良好ナリシ

次テ騎兵分列セリ先ツ二中隊並歩次テ二中隊早歩終ニ二中  
隊駟歩ニテ施行セリ其整頓歩調共ニ可ナリ

分列終ルヤ直ニ騎兵ハ分列點ニ正対シ縱隊横隊ヲ編成  
シ約六百米ノ距離ヨリ分列點ニ向ヒ龍巻撃ヲ為シ其動  
作頗ル快活ナリシ

右ニテ演習全ク終リ步兵第一旅団司令部ニ軍団長代理  
 以下ト午餐ヲ共ニシ食事終リ別テ告ケ偕行社ニ歸レリ  
 此數日同ノ觀察ニ依レハ步兵半ハ吾步兵卒ト大差ナカル  
 ク騎兵砲兵ハ馬ノ點ニ於テ少シク吾騎兵砲兵ニ優リ居ル  
 ニ將校ハ一般ニ勇壯殊ニ騎兵將校ハ決意敵中ニ突入スルノ  
 氣概アリ

高級ノ団隊長特ニ將官ハ精銳ノ人ヲ備ヘテリト稱スルヲ得  
 シ東亞ノ露軍恐ルハニ足ラスト虽氏亦決シテ侮ル可ラズ然  
 レトモ若シ吾軍隊ニシテ尙大ニ奮勵スル所アラニカ即チ露  
 兵ヲ凌ク決シテ難カラサルヲ信ス

午後病院及輜重幹部中隊ヲ見ル病院ハ其建築西歐學  
 理ノ最新式ニ依ルモノニシテ其規模頗ル宏壯ナリ輜重幹部  
 中隊ノ車輛ハ駁隊ノ行李車ト同一ニシテ已ニ前ニ述タルヲ以





トナリ九月二十四日旅順ニ着シ二十六日アレキレーフ提督ヲ訪  
 同レ同夜カシンスキ大尉ニ別レ芝罘ニ赴キ二十七日芝罘  
 ニ着シ二十八日營口九ニ搭シ出帆神戸ニ歸リ汽車ニ乗  
 リ十月三日東京ニ歸着セリ

附言 ニコリスク 附近ニハ尚多クノ軍隊ヲ集合シ演  
 習セシムル 計画ナリシ由ナルモ九月上旬大雨ア  
 リテ道路陥壞シ遠地ヨリ兵ヲ招致スル能ハサ  
 ルニ至リタルニ依リ已ムヲ得スニコリスク所在ノ  
 兵々ヲ以テ演習スルニ至レリト云一